



豊後大野市小中一貫教育校緒方学園 緒方中学校 学校だより

# 青雲の大志

令和6年7月16日

NO.49 文責 校長 内海真理子

【学校教育目標】 自他を尊重し、論理的な思考力と豊かな表現力で、粘り強く課題解決を図る生徒の育成

## 郷土の先輩特別授業



7月8日(月)に本校の卒業生(2007年3月卒)で、現在TMI 総合法律事務所企業法務弁護士として活躍されている板井遼平さんをお迎えし、弁護士の仕事内容や志したきっかけ等についてご講演いただきました。

### 生徒の感想の一部を紹介します。

■ 私が、弁護士と聞いて思うのは、刑事裁判のことしか思い浮かばなかったけれど、お話を聞くと、裁判のことだけでなく、会社の株主総会のことだったり、会社を買いたい人のお手伝いとかをしたりすることがあると言っていたので、びっくりしました。

■ まず、弁護士という仕事自体、あまり詳しくなく、とにかく難しくて頭がいい人にしかできないものだと、遠くに感じていました。ですが、勉強に対しては確かに努力は必要でしたが、中学生まではサッカーだけをしていた方が、努力をしようと決め、努力次第で夢が叶う「遠くはない仕事」なんだと分かりました。お話の中で「今、やりたいと思ったことを素直に続けるのがよかったです」という言葉は、まだ将来の夢が決まっていない私にとって、励ましのようなものでした。

■ 仕事は結構きついイメージを持っていたけど、きつい時もあるけれど、意外と楽しいと思えるときもあるんだなと思いました。

■ これまで弁護士というと難しく大変な仕事というイメージがありましたが、やり甲斐、達成感のある仕事なんだと分かりました。板井さんが言っていたように、一人で勉強するより、友だちと一緒に励まし合いながら勉強するのは、やる気も出ていい方法だと思いました。

## 水難事故を起こさない

7月10日(水)のFUN・FUNスポーツは、水難事故防止について柿迫先生から学びました。万が一、溺れそうになった時は、「星型」になって浮かんで救助を待つこと、溺れている人を見かけたときは、自分で救助に行こうとせず、必ず人を呼んで助けを求め、浮くものを投げ入れること等の基本をしっかりと心に刻みました。



■ 板井さんは、高校まで、将来の夢が決まっていなかったけれど、司法試験の合格者数の資料を見たことで、将来の夢が決まって、そこからたくさん勉強をしたと言っていて、すごいと思いました。

■ 弁護士は勉強が難しいと思っていました。実際は、確かに難しいのかもしれないけれど、六法全書は全部覚えなくても良いと言われたことや、弁護士を目指したのは、「18歳のノリ」などと言われて、勢いに任せるのも重要なんだと感じました。今の9年生全員が「勢い」を持っているわけではないので、そこらも頑張っていきたいです。

■ 自分を信じる力があれば、弁護士にだってなれるので、自分も自信をしっかりとってこれからも頑張りたい。

■ お話を聞く中で一番印象に残ったことは、「今、将来が決まっていなくても焦らなくていい」ということです。私は、まだ、将来の夢がきっちり決まっていないため、大学を見据えた高校生活にするのか、就職を考えるのかなど、色々な選択肢の前に少し焦りを感じていました。けれど、今回のお話で、自分のやりたいことを一つひとつ探していきたいと思えるようになりました。

■ 私も将来の夢ややりたいことなど全く思いつかなくて、少し焦っていたので、郷土の先輩の言葉を聞いて安心しました。些細なことがきっかけで夢が決まると思うと、いつもの日常が、今以上に楽しみになってきました。

## 「情報の整理」名人で学力UP



7月8日(月)のSTUDY UPの時間、7、8年生対象に学習集会を開きました。「学びのつぼ②」として迫村先生から、情報の重要性和その整理の仕方について

お話がありました。ノート整理の上手な友だちのノート、ロイロノートから情報を素早く取り出すための工夫、ロッカーの中の整理整頓等、具体的な好事例を知ることができました。あとは、実行です。

夏休みには1学期の学習プリントをノートに貼ったり、単元ごとにインデックスをつけてファイリングしたり、自分にぴったりの方法で、必要な時に必要な情報がすばやく取り出せるように整理しましょう。ノートを見返したとき、授業がよみがえり、そのときの授業の概要を説明できるようになれば、学力は必ずUPします。頭の中の整理整頓につながるわけです。ご家庭でも声掛けをお願いします。